

東武東上線大山駅付近 立体化促進協議会ニュース

第2号
H31.3

編集・発行 東武東上線大山駅付近立体化促進協議会
(事務局:板橋区都市整備部拠点整備課)

◇ 東武東上線大山駅付近立体化促進協議会全体会を開催しました

平成30年8月6日、板橋区役所大会議室において、東武東上線大山駅付近立体化促進協議会全体会(以下「全体会」という。)を開催しました。全体会では、平成29年度の活動実績の報告、平成30年度の活動計画や東京都への要望書の内容について承認いただくとともに、東京都や板橋区の連続立体交差化計画や駅前広場計画等に関する動向として、平成30年2月の素案説明会と7月・8月のオープンハウスの開催について報告をしました。会場には、オープンハウスで利用した事業概要のパネルや模型を展示し、会員の皆様にご覧いただきました。



○全体会の様子

◇ 東京都へ要望書を提出しました

平成30年8月29日(水)、本協議会は東京都へ鉄道立体化に関する要望書を提出しました。要望事項は以下の3点です。

- 一、東武東上線大山駅付近の連続立体交差事業については、今後とも地元住民に対して丁寧な対応に努めるとともに、都市計画素案をもとに早期事業化を図ること。
- 一、連続立体交差事業の推進に必要な財源を確保すること。
- 一、連続立体交差事業にあわせて区が進める大山駅周辺の整備事業に対し、必要な支援を講じること。

促進協議会を代表して橋本幹事長(板橋区副区長)が都庁を訪問し、東京都は建設局の三浦道路監と都市整備局の荒井都市基盤部長にご対応いただき、都知事あて要望書を手渡しました。

- 三浦道路監(中)、荒井部長(右)
に要望書を手渡す橋本幹事長(左)



◇都市計画案及び環境影響評価書案の説明会が開催されました

平成 30 年 12 月 16 日（日）、17 日（月）に、東武鉄道東上本線（大山駅付近）の連続立体交差化計画の都市計画案及び環境影響評価書案、連続立体交差化計画に関連する道路計画（鉄道附属街路）と大山駅の駅前広場計画（板橋区区画街路第 9 号線）の都市計画案を広く区民に説明するため、東京都・東武鉄道株式会社・板橋区の共催による説明会が開催されました。

説明会には、両日で延べ 504 名と多くの方が来場され、事業についてのスライドでの説明と質疑応答が行われました。

また、今後のスケジュールについては、事業主体である東京都から平成 31 年度中に都市計画決定、平成 33 年度中に都市計画事業認可をめざすとの説明がありました。

- 日 時 (1) 平成 30 年 12 月 16 日（日）
15：00～17：00
(2) 平成 30 年 12 月 17 日（月）
19：00～21：00
- 場 所 (1) 板橋区立板橋第一中学校 体育館
(2) 板橋区立文化会館 大ホール
- 来場者 (1) 239 名
(2) 265 名



○説明会の様子（板橋第一中学校）

◇東武東上線大山駅付近立体化促進協議会の活動について

本協議会の活動は、平成 29 年 7 月 28 日に開催した促進大会において以下のとおり活動方針を定めて取り組んでいます。今後も立体化の早期実現をめざし、活動方針に沿って取り組んでいきます。

- 一、区民、区議会、区が一体となって、国や東京都、鉄道事業者に対し、東武東上線大山駅付近の立体化の早期実現に向けた要請およびその他必要な活動を行う。
- 一、東武東上線大山駅付近の立体化の促進や大山駅周辺の整備について、情報の発信など必要な広報活動を行う。
- 一、本協議会の目的に合致するその他の必要な活動を行う。

◇ 問い合わせ先